

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド

コード番号 5331 URL https://www.noritake.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 博

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 水口 宗成 TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,217	9.2	2,209	24.9	3,416	29.0	2,695	20.7
2022年3月期第1四半期	29,506	14.7	1,769	500.6	2,648	158.4	2,233	306.6

(注) 包括利益 2023年3月期 4,343百万円 (205.1%) 2022年3月期 1,423百万円 (42.2%)
第1四半期 第1四半期

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	186.72	ー
2022年3月期第1四半期	154.74	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	168,921	122,397	72.0	8,426.41
2022年3月期	163,562	118,800	72.2	8,183.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 121,623百万円 2022年3月期 118,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	70.00	ー	80.00	150.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	80.00	ー	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,500	8.2	4,200	0.1	5,600	△1.5	4,200	△0.1	290.99
通期	138,000	8.1	9,500	1.6	12,500	△0.1	9,500	4.8	658.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期 1Q	14,842,849株	2022年3月期	14,842,849株
② 期末自己株式数	2023年3月期 1Q	409,274株	2022年3月期	409,107株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期 1Q	14,433,667株	2022年3月期 1Q	14,434,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は322億17百万円(前年同期比9.2%増加)、営業利益は22億9百万円(前年同期比24.9%増加)、経常利益は34億16百万円(前年同期比29.0%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億95百万円(前年同期比20.7%増加)となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

国内では、主要顧客である鉄鋼、ベアリング業界において顧客の生産が堅調に推移したものの、自動車業界の生産が大幅に減少したことから、売上げは微減となりました。海外では、北米は自動車関連向けの拡販により増加し、中国は上海のロックダウンの影響を受けたもののベアリング向けが好調に推移し、東南アジアでも自動車生産が回復したことから、売上げは増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、アジアを中心に堅調で、増加しました。研磨布紙は、海外は堅調でしたが国内が振るわず、前年並みに留まりました。その結果、工業機材事業の売上高は、148億30百万円(前年同期比7.9%増加)、営業利益は7億60百万円(前年同期比62.0%増加)となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、顧客の在庫調整の影響を受け、売上げは大きく減少しました。電子部品材料は、自動車向けが増加したものの通信分野向けが減少し、売上げは微減となりました。厚膜回路基板は、一部製品の価格改定等により、売上げは増加しました。石膏は、東南アジア及びアフリカ向けが好調で、増加しました。セラミックコアは、需要に回復の兆しが見られ、増加しました。蛍光表示管は為替の影響を受け増加しました。セラミック原料は国内向けが大きく増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、111億93百万円(前年同期比8.7%増加)、営業利益は14億69百万円(前年同期比1.9%増加)となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野が堅調に推移したことにより、売上げは増加しました。混合攪拌装置は、化学・食品業界向けで受注が回復し、売上げは増加しました。濾過装置は、受注は回復基調にありますが、前年の設備投資抑制が影響し、国内外共に大きく減少しました。超硬丸鋸切断機は、自動車部品向けが低調で、売上げは減少しました。ロードカッターは前年並みとなりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、46億63百万円(前年同期比9.9%増加)、営業利益は1億47百万円(前年同期比23.1%減少)となりました。

(食器)

国内市場は、未だコロナ禍の影響が残るものの、ホテル向けの受注が回復傾向にあることに加え、直営店での売上げが増加したことから、国内全体の売上げは増加しました。海外市場は、アジア地域において中国・インド向けの販売が伸びましたが、米国では主要顧客の在庫調整の影響を受け苦戦したことから、海外全体では売上げは前年並みに留まりました。その結果、食器事業の売上高は、15億29百万円(前年同期比25.1%増加)、1億68百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少に加え、保有株式の株価下落に伴い投資有価証券の時価総額が減少したものの、商品及び製品の増加に加え、仕掛品並びに原材料及び貯蔵品が増加したことから、前連結会計年度末に比べ53億59百万円増加し、1,689億21百万円となりました。

負債は、未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が増加したことから、前連結会計年度末に比べ17億62百万円増加し、465億24百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことから、前連結会計年度末に比べ35億97百万円増加し、1,223億97百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は2022年5月10日発表の見直しを変更しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,169	13,049
受取手形及び売掛金	29,014	29,229
電子記録債権	4,613	5,185
商品及び製品	10,082	13,618
仕掛品	6,671	7,429
原材料及び貯蔵品	6,456	7,550
その他	2,781	3,151
貸倒引当金	△129	△127
流動資産合計	73,660	79,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,328	18,301
その他(純額)	26,588	27,009
有形固定資産合計	44,917	45,311
無形固定資産	1,588	1,733
投資その他の資産		
投資有価証券	38,330	37,709
退職給付に係る資産	3,825	3,767
その他	1,356	1,436
貸倒引当金	△116	△121
投資その他の資産合計	43,396	42,791
固定資産合計	89,902	89,835
資産合計	163,562	168,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,039	11,199
電子記録債務	8,752	10,722
短期借入金	5,600	5,235
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払法人税等	1,991	700
引当金	1,641	480
設備関係支払手形	91	108
営業外電子記録債務	580	565
その他	5,634	7,307
流動負債合計	35,234	37,219
固定負債		
引当金	682	672
退職給付に係る負債	1,559	1,582
その他	7,285	7,050
固定負債合計	9,527	9,305
負債合計	44,762	46,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,502	18,593
利益剰余金	71,983	73,931
自己株式	△1,161	△1,252
株主資本合計	104,957	106,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,647	12,979
為替換算調整勘定	△2,502	△125
退職給付に係る調整累計額	2,018	1,864
その他の包括利益累計額合計	13,163	14,719
非支配株主持分	679	773
純資産合計	118,800	122,397
負債純資産合計	163,562	168,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	29,506	32,217
売上原価	21,464	23,411
売上総利益	8,041	8,805
販売費及び一般管理費		
販売費	4,142	4,253
一般管理費	2,130	2,342
販売費及び一般管理費合計	6,272	6,596
営業利益	1,769	2,209
営業外収益		
受取利息	11	18
受取配当金	354	494
受取賃貸料	118	128
為替差益	124	247
持分法による投資利益	269	291
その他	73	77
営業外収益合計	952	1,257
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産賃貸費用	41	33
その他	26	13
営業外費用合計	74	50
経常利益	2,648	3,416
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産処分損	49	84
投資有価証券評価損	8	0
特別損失合計	58	85
税金等調整前四半期純利益	2,594	3,333
法人税、住民税及び事業税	460	561
法人税等調整額	△105	69
法人税等合計	355	631
四半期純利益	2,239	2,701
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,233	2,695

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,239	2,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,704	△667
為替換算調整勘定	939	2,425
退職給付に係る調整額	△59	△153
持分法適用会社に対する持分相当額	8	37
その他の包括利益合計	△815	1,641
四半期包括利益	1,423	4,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,385	4,250
非支配株主に係る四半期包括利益	37	92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日の海外子会社 (Noritake Co., Inc. 他11社) については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該海外子会社の2022年1月1日から2022年3月31日までの損益については、利益剰余金の増加424百万円として調整しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	13,738	10,300	4,243	1,223	29,506
外部顧客への売上高	13,738	10,300	4,243	1,223	29,506
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	469	1,441	191	△333	1,769

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

建設・土木業向け産業機械、ダイヤモンド工具を販売する連結子会社の日本フレキ産業株式会社は、産業機械の販売比率が高いことから経営管理区分を変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より、帰属する報告セグメントを工業機材からエンジニアリングに変更しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,830	11,193	4,663	1,529	32,217
外部顧客への売上高	14,830	11,193	4,663	1,529	32,217
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	760	1,469	147	△168	2,209

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。